

# 徳之島町

教育委員会名：徳之島町教育委員会

住 所：鹿児島県大島郡徳之島町亀津 2918

電 話：0997-82-1308

## I 市町村の現状と取組

### 1 市町村の現状

人 口：1万4百人（うち児童・生徒数：975人）

学校数：幼稚園4園 小学校8校  
中学校6校 高等学校2校

主な事案

- 平成29年 不審者による声掛け（小女児）
- 平成30年 不審者による声掛け（中女児）
- 令和元年 わいせつ被害事案（中女児）

### 2 市町村の安全上の課題

本町は、離島という地域の特性上、近隣に顔見知が多く、不審者事案等子どもに危害を及ぼす恐れのある犯罪への危機意識が比較的低い状況にある。そのため、子どもに対する犯罪を未然に防止するための取組や、犯罪が起きた場合の子ども自身の対応及び学校や保護者の対応を身に付けるための取組が十分に行われていないという課題がある。

安全教育においては、児童生徒等に自らの命を守る行動を主体的に実践する力や危険を予測し、回避する力を育成することが必要である。そのため、学校においては安全教育を推進できる中核教員の育成と子ども自らが取り組む防犯意識の向上、学校全体で取り組む避難訓練など、これまでの取組を工夫改善していくことが大切である。更には、保護者・地域を巻き込みながら町全体で「ながら見守り」等の活動を普及し、長期的な防犯活動に取り組むことができるようにする。

### 3 モデル地域選定の理由

亀津地区は、徳之島町の人口が集中する中心市街地に位置し、徳之島全体においても最大数の児童が在籍する小学校と中学校がある。また、校区には、官公庁や店舗が立ち並ぶとともに交通量や島内外からの人の出入りが多い。そのため、声か

け事案等犯罪につながる事案や事件、事故の発生の可能性が、他校区より比較的高いことからモデル地域とした。

## 4 取組の概要

### (1) 学校安全の中核となる教員の資質能力の向上に係る取組について

ア 防犯に関する公開授業の実施

モデル地域の2つの小学校の防犯担当教職員が中心となって、防犯に関する授業を公開し、研修や取組の成果を町内に還元した。

<第1回>

日 時：令和元年10月28日（月）

会 場：徳之島町立亀徳小学校

授業者：窪田 由依（第1学年 特活）

単元名：「あぶないとき どうする」



<第2回>

日 時：令和2年1月29日（水）

会 場：徳之島町立亀津小学校

授業者：中村 格（第5学年 特活）

単元名：「不審者から自分の命を守ろう」



イ 防犯教室の開催

モデル地域の2つの小学校において、スポーツ防犯教室の専門家を講師に招聘し、より実践的な不審者対応避難訓練を実施した。

日時：令和2年1月29日（水）～30日（木）

場所：亀津小学校5年、亀徳小学校3・4年

内容：体を使ってゲーム感覚の防犯教室



- ウ 教職員を対象とした防犯研修・講演会の開催  
町内全小・中学校に参加を呼びかけ、公開授業に関する情報交換と防犯に関する講演会を企画・開催した。

日時：令和2年1月29日（水）

会場：徳之島町立亀津小学校図書館

講師：NPO 法人安心安全まちづくり研究所  
代表 坂元 一成 氏



- エ 徳之島地区保育連合会研修会への参加

日時：令和2年1月19日（日）

会場：天城町防災センター

参加：町内の小・中学校の教諭等22人

演題：「こどもたちの命を守る」

講師：グリーンパートナー歩み 本郷由美子氏

内容：大阪教育大学附属池田小学校で当時小学2年生の愛娘を亡くした本郷氏からのメッセージと学校安全への警鐘。



- オ その他の研修会等への参加

① 学校安全防犯教室

日時：令和元年8月9日（金）

会場：奄美市立名瀬小学校

内容：学校における不審者侵入への対応を警備会社の講師から実践的に学んだ。

② 鹿児島県健康教育研究大会

日時：令和2年2月6日（木）

会場：県民交流センター

内容：児童生徒の安全確保と安全教育について先進校の実践を学び、大阪教育大学教授の特別講演を聴講した。

## (2) 学校安全の取組を評価・検証するための方法について

本事業の取組を評価・実証するために、下記の指標を設け、アンケートや実態調査を行っている。

- ア 管理職の他に、学校安全を推進するための中核となる教員を校務分掌に位置付けている学校の割合（R1年度100%）
- イ 危機管理マニュアルの見直しや内容の周知などを行っている学校の割合（R1年度100%）
- ウ 保護者に対する啓発活動を行った学校の割合（R1年度100%）

## (3) その他特の取組について

- ア 実践委員会

日時：年3回

会場：徳之島町生涯学習センター他

参加：実践委員会メンバー

内容：安全総合支援事業に関する事業計画の立案と評価・改善について、各担当部署の立場から意見を出し合った。

- イ 防犯標語の募集

期間：令和元年11月～12月4日（水）

目的：標語づくりを通して、児童生徒が自らの命を守る行動を主体的に実践する力や防犯に関する意識を高める。

応募：町内全小・中学校より133点

表彰：最優秀作品等は、のぼり旗等に印刷をして、町内の防犯啓発に役立てる。

※ 最優秀賞作品については、2月の第3回実践で選出する予定

## 5 成果と課題

### 【成果】

- ・ 専門家を招聘した防犯教室の実施（2校：約110人参加）や教職員を対象とした2回の公開授業の実施、講演会や各種研修会への参加を推進してきたことで、研究成果の還元だけでなく、効果的・実践的な防犯啓発を行うことができた。
- ・ 防犯標語コンクールを開催したことで、児童生徒の防犯意識をより一層高め、また、地域ぐ

るみの防犯啓発を効果的に高めることができた。

**【課題】**

- ・本事業で研究・開発してきた防犯授業や実践的防犯訓練のノウハウを今後どのように各学校のカリキュラムに位置付けていくか。